

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 4 月 1 日

事業所名 こもれば通所支援事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	訓練スペースが狭いときは、配置物などを移動して確保しています。グループ分けなどして対応しています。	怪我、事故など起きないように一定の間隔で職員配置している。
	2	職員の配置数は適切である	9	0	専門の知識を活かした配置と対応しています。	理学療法士、保育士、児童指導員などの資格者を配置しました。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	8	バリアフリー化ができないところもありますが、滑り止め設置、目印等でわかりやすくし、転倒や衝突回避に務めています。	職員配置、目印追加等で環境調整していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	衛生、感染対策マニュアルに沿って毎日掃除、定期的消毒を行っています。	窓が多く配置され、明るく、風通しの良い空間と又広い庭園や玩具と子どもたちに適して空間となっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	職員間で情報を共有しています。会議等で目標設定の見直しや、よりよい支援を考えています。	日報又は会議録、SNS等も利用し、全スタッフ共有に務めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	個別支援計画書に盛り込んだり、業務改善につなげたり、口頭での質問等も即日に対応できるよう務めています。	保護者等向け評価表(アンケート)を継続し、モニタリングでの課題に対応できるよう個人記録に記入するようにしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	評価表は、もちろんのこと口頭での問いなどに即日に回答できるよう、その都度改善に務めています。	平成30年度にホームページを開設し、保護者等向け評価表(アンケート)、および事業所の自己評価表等を公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4	各相談事業所の相談員や教員、関係事業所等から評価等を伺っています。	外部評価検討中。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2	リモート研修、オンラインセミナーなどで研修確保している。	内部研修、外部研修を月1回目標にしています。(コロナ禍にて様子見て対応中)
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	年度替わりや環境の変化、お子様の成長・発達に応じたアセスメントを行い、本人や保護者様のニーズを把握し、支援計画を作成しています。	変更時や年に1回以上見直しを行っています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	標準化されたツールを参考に事業所で作成したアセスメントツールを使用しています。	個人の特性に応じたアセスメントツールも仕様しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	本人や保護者様の要望に沿って、長期目標、短期目標を設定し、要望実現のための具体的課題や支援内容、支援期間や優先順位を、分かりやすい文章で表記しています。	ガイドラインに沿い、発達支援(本人支援及び移行支援)、家族支援、地域支援をバランス良く、具体的な支援内容を分かりやすく設定していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	児童発達支援計画を基に個別療育、集団療育のプログラムを立案し、個々に合わせた支援を行っています。	保護者、教員、相談員等と連携をはかりながら支援が途切れないよう継続的な対応していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	スタッフ以外に、関係者とも共通理解したうえでのプログラム立案をおこなっています。	保護者はもちろん事、相談員、学校関係者とも共通目的のもと、プログラムの立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	保護者、スタッフの要望なども聞いて対応し、又本人が飽きないよう変化をつけて対応しています。	本人に合わせた支援を優先して考えていますが、苦手な療育内容なども細分化して対応しています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	曜日固定の集団プログラムが主のため、そこに特性や発達状況を考慮して組み合わせています。	個別に本人と特性の確認や見直し等たて意識できるようにさせています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	毎日、短時間職員も踏まえて会議しているため前回の療育の引継ぎと併せ対応できている。	当日開始前に状況が変化することがあるため、そこまで見通し立てて対応していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	翌日に前日のミーティング等で振り返り、変化や気付いた事などは、次の支援内容に活かすようにしています。	時間差出勤職員にも細かいところまで共有できるよう日報に記載欄を設けた。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	毎日記録つけて対応しています。	記録内容が曖昧な内容にならないようルール化しました。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	毎回参加し、利用児の近況などを確認しています。	見直しや継続性の必要性などスタッフとも細かく情報交換しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	担当者会議には、主に児童発達支援管理責任者が出席しています。	現状どおり対応していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	0	必要に応じて、保育所や幼稚園、地域の専門機関や医療機関との情報共有や相談を行い、適切な支援が行えるように努めています。	現状どおり対応していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	9	医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様の利用はありません。	今後連携体制整えていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	9	医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様の利用はありません。	今後連携体制整えていきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	保護者様を通じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	現状どおり対応していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	保護者様を通じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	現状どおり対応していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	保護者様を通じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	発達検査での結果内容を共有し、療育内容の参考にしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	7	公園遊びや散歩等で交流させたり、児童館等のイベントに参加できるよう務めている。	毎年、地域の中学生の職場体験を通して交流を図っている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	8	情報収集に務めているところです。	今後連携体制整えていきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	保護者のお迎え時や送迎時、連絡帳、電話、SNSなどで状況や課題についてお伝えしている。	現状どおり対応していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	1	家族支援は、行っているが事業所にて正式なペアレント・トレーニングは、行っていません。	ペアレント・トレーニングのスキルを持ち、今後、事業所内で実施できるようにしていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時に規定を明確に提示し、利用者負担等についても丁寧な説明を行っています。	現状どおり対応していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	本人や保護者様の要望を確認し、長期目標、短期目標、要望実現のための具体的課題や支援内容、支援期間や優先順位を分かりやすく説明した後、同意を得ています。	発達支援、家族支援、地域支援を取り入れ、分かりやすく明確に記載した児童発達支援計画を説明し、同意を得ています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	相談にはその都度対応しています。必要に応じて日時を改め時間を設け、助言と支援を行っています。	保護者様の悩み等を改善できるようスキルアップ目指します。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	7	父母の会の活動はおこなっていませんが、保護者同士の紹介等を行い連携を促しています。	保護者の参加数など少なく現在調整中である。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	いつでも相談して頂ける関係・環境を作るようにしています。	相談や申入れがあった場合は、迅速かつ、適切に対応するようにします。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	行事予定は紙面で対応し、活動内容はホームページやブログ等で発信しています。	ホームページの整備。保護者様に有益な情報の会報や連絡体制等を整備していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	個人情報などはファイリングし、見えない場所へ保管しています。	事務所内の掲示物等個人情報がもれないよう整備していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	よりわかりやすく親切的な対応を個々に考え工夫しています。	現状どおり対応していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	8	地域住民の招待活動はありませんが、社協の方々に見学来ていただいたり、近所住民の見学に協力しています。	地域住民に開かれた事業所を考えていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	対応マニュアルを策定し、職員に周知している。	周知だけでなく、発生を想定した訓練や研修を行っていきます。事業所内にマニュアルを設置し、保護者様にはいつでもお読み頂けるようにしています。定期的に訓練を行い、最新の情報を提供していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	年2回以上、訓練を実施しています。想定災害に応じた避難訓練を実施しています。	定期的に訓練を行なっています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0	契約時に既往歴等、お子様の状況を確認しています。服薬やその日の体調等は、利用時に毎回確認するようにしています。	健康管理、状況把握に努めます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	該当児童はいないが、契約時にアレルギーの有無その日の体調等は、利用時に毎回親御さんに確認するようにしています。	情報収集や全スタッフ内部研修外部研修など行い対応できるようスキルアップはかります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	会議等で事例確認し、該当事例の場合は記録している。	全職員共有できるよう定期的に確認していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	外部研修を積極的に参加し、その内容を全スタッフに共有しています。	外部研修を毎年職員をかえて受講させています。虐待マニュアルを整備しました。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	1	該当者なしです。	情報収集して今後備えて整備していきたいです。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。